

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□3節□4項	(2) 高齢者福祉施設の充実
担当課・係名	福祉の家 管理係【問合せ・質問等の先(内線番号) 64-6500番】			

<b>業務の名称</b>	福祉の家施設整備業務																																														
(1) 根拠法令・条例	長久手町福祉の家条例																																														
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 25.0% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数: 250.0人・日 (臨時雇用者延人数: 0人・日)																																														
(3) 事業費 (人件費分を除く)	5,040千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																														
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	_____% (平成19年度実績)																																														
(5) 業務期間	開始した年度	14年度	終了(予定)年度	年度																																											
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)																																															
①業務目的(達成目標)	町民に十分な施設サービスを提供すること。																																														
②業務が対象とする住民(地域、層)	町民																																														
③業務の具体的な実施内容・方法(平成19年度実績)	1 機械室維持補修工事																																														
④業務の実施結果(平成19年度実績)	・施設の維持管理業務を適切に運営するために年度毎には完了する。																																														
	【業務結果の説明指標】																																														
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度実績</th> <th>20年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>機械室維持補修工事 (千円)</td> <td>13,230</td> <td>3,780</td> <td>5,040</td> <td>継続</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						結果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標	1	機械室維持補修工事 (千円)	13,230	3,780	5,040	継続		2							3							4							5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標																																									
1	機械室維持補修工事 (千円)	13,230	3,780	5,040	継続																																										
2																																															
3																																															
4																																															
5																																															
⑤業務の成果(業務目的の達成状況)(平成19年度実績)	・当初の目的が達成できた																																														
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】																																														
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度実績</th> <th>20年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>機械室維持補修工事 (千円)</td> <td>13,230</td> <td>3,780</td> <td>5,040</td> <td>継続</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標	1	機械室維持補修工事 (千円)	13,230	3,780	5,040	継続		2							3							4							5					
成果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標																																									
1	機械室維持補修工事 (千円)	13,230	3,780	5,040	継続																																										
2																																															
3																																															
4																																															
5																																															

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
・経年による施設の老朽化

(8) 改善実績（過去3年間の実績）
・設備等補修工事

(9) 業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	5点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	5点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	5点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	5点
		平均 4.7点

(10) 総合評価（課の見解）	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） ④. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	施設の老朽化に伴い、設備等の補修工事は毎年必要となってくるので、継続して実施する。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
老朽化が進む施設を、適切に維持管理しながら町民の利用に供する。